

「臨床婦人科産科」第74巻 総目次

2020年（第1号～第12号）

数字は通巻頁数、（ ）は号数

今月の臨床

●周産期超音波検査バイブル—エキスパートに学ぶ技術と知識のエッセンス(1)

〈産科超音波検査の基礎編〉

超音波診断装置の基礎知識と装置の調整方法

日高 庸博……………6

妊娠初期の見方と所見

三浦 清徳……………14

妊娠中期の胎児正常解剖と形態スクリーニング法

松岡 隆……………24

胎児計測と超音波ドプラ法の基本

岩垣 重紀……………33

子宮頸管長の評価

川端伊久乃……………43

胎盤・臍帯・羊水の評価

長谷川潤一・佐々木貴充・古谷 菜摘

倉崎 昭子・鈴木 直……………50

〈産科超音波検査の応用編〉

胎児心臓超音波スクリーニング法

山本 祐華……………57

胎児心臓機能検査

小澤 克典・室本 仁・杉林 里佳

和田 誠司・左合 治彦……………63

妊娠初期での染色体疾患のリスク評価

早田 桂・増山 寿・佐々木愛子……………72

3D超音波の基礎と使い方

花岡有為子……………80

経会陰超音波検査による分娩評価

坂巻 健……………90

産科合併症の超音波検査による評価

塩崎 有宏……………97

〈胎児疾患編〉

胎児発育不全

梅原 永能・栗野 啓……………103

胎児脳疾患

市塚 清健……………112

胎児脊椎管閉鎖障害

長瀬 寛美……………120

胎児顔面・頸部疾患

落合 大吾・秋葉 洋平・田中 守……………128

胎児心疾患

金 基成……………135

胎児胸部疾患

杉林 里佳・室本 仁・小澤 克典

和田 誠司・左合 治彦……………142

腹壁疾患・消化管疾患・腹部腫瘍

加地 剛……………148

胎児泌尿生殖器疾患

笹原 淳……………158

胎児骨系統疾患

上妻 友隆・吉里 俊幸・牛嶋 公生……………164

一絨毛膜双胎の疾患

山本 亮……………177

●はじめての情報検索—知りたいことの探し方・最新データの活かし方(2)

〈情報検索のココがポイント!〉

一歩進んだPubMed検索

戸村 裕菜・野坂美恵子……………202

PubMed以外の文献収集法とその利点—Google Scholar, Web of Science, Scopus など

早川 智……………209

医中誌を使いこなす

小林 陽……………215

UpToDate® や DynaMed™ などの二次資料を使いこなす

田中 顕道・南郷 栄秀……………221

遺伝病・遺伝子関係の情報収集法

佐藤 泰輔・佐村 修……………229

医学分野以外のデータベース検索—新聞・雑誌記事、判例

園原 麻里……………236

〈ガイドラインからどのように情報を読み取るか〉

ガイドラインの使い方:婦人科腫瘍分野(治療ガイドライン)

三上 幹男……………242

ガイドラインの使い方:生殖内分泌分野(生殖医療必修知識2017年版)

伴田 美佳・瀧内 剛・木村 正……………248

ガイドラインの使い方:周産期分野(診療ガイドライ

ン産科編)	
板倉 敦夫……………	253
ガイドラインの使い方：女性医学分野（HRT ガイドライン）	
岡野 浩哉……………	259
〈EBM と臨床への応用〉	
Cochrane library と産婦人科臨床への応用	
竹元 葉・大田えりか……………	268
EBM を超えて—診療ガイドラインの動向や新しい潮流（GRADE）を中心として	
相原 守夫……………	275
〈情報の海原：私の航海術〉	
ブログを利用した情報収集，整理，活用術	
松林 秀彦……………	284
●徹底解説！ 卵巣がんの最新治療—複雑化する治療を整理する（3）	
変貌する卵巣がん治療	
佐藤 豊実……………	310
〈新規治療薬の作用機序《コンパニオン診断》〉	
卵巣がんに対するコンパニオン診断の使い方	
平沢 晃……………	317
〈新規治療薬の作用機序《分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬》〉	
VEGF 阻害薬の作用機序と使いどころ	
馬淵 誠士・山田 有紀・岩井 加奈……………	325
PARP 阻害薬の作用機序と使いどころ	
渡邊 絵里・梶山 広明……………	334
免疫チェックポイント阻害薬の作用機序と使いどころ	
濱西 潤三・万代 昌紀……………	344
〈ここが知りたい最新の治療戦略《初回治療》〉	
初回腫瘍減量術（PDS）での後腹膜リンパ節郭清の意義は？	
太田 剛……………	357
化学療法先行後の腫瘍減量術（NAC+IDS）の適応は？	
鈴木 嘉穂・寺井 義人……………	363
初回化学療法で conventional TC 療法と dose-dense TC 療法をどのように使い分けるか？	
藤原 聡枝・大道 正英……………	369
組織型を考慮した初回化学療法は推奨されるか？	
村上 幸祐……………	374
維持化学療法の位置づけは？	
田中 良道……………	380
〈ここが知りたい最新の治療戦略《再発治療》〉	
再発に対する腫瘍減量術（SDS）は推奨されるか？	
吉野 潔……………	386
プラチナ感受性再発に対して推奨されるレジメンは？	
高野 政志・宮本 守員・吉川 智之……………	392

プラチナ抵抗性再発に対して推奨されるレジメンは？	
境 秀樹・松本 光史……………	401
●産婦人科処方のすべて 2020—症例に応じた実践マニュアル（4：増刊号）	
【婦人科編】	
〈Ⅰ．婦人科感染症・類縁疾患〉	
腔炎	
川名 敬……………	8
硬化性苔癬・外陰潰瘍・Behçet 病	
藤田 智子・笹川 寿之……………	11
尖圭コンジローマ・外陰毛じらみ症・疥癬	
藤田 智子・笹川 寿之……………	14
性器クラミジア感染症	
野口 靖之・南谷 智之……………	17
性器ヘルペス	
野口 靖之・南谷 智之……………	20
淋菌感染症	
川名 敬……………	23
骨盤内感染症—子宮内膜炎・子宮付属器炎・骨盤腹膜炎	
寺田 貴武・牛嶋 公生……………	26
〈Ⅱ．内分泌・不妊〉	
原発性無月経	
齊藤 真・榊原 秀也……………	29
続発性無月経	
大場 隆……………	34
早発卵巣機能不全	
田中 佑佳・河村 和弘……………	38
思春期不正出血	
齊藤 真・榊原 秀也……………	40
機能性子宮出血	
尾林 聡……………	43
更年期不正出血	
尾林 聡……………	47
高プロラクチン血症	
北原 慈和・岩瀬 明……………	52
機能性月経困難症	
小松 宏彰・谷口 文紀・原田 省……………	55
月経前症候群（PMS）	
小川真里子・高松 潔……………	59
排卵障害	
松崎 利也・柳原 里江・岩佐 武……………	63
黄体機能不全	
松崎 利也・柳原 里江・岩佐 武……………	68
多嚢胞性卵巣症候群	
長谷川祐子・岩瀬 明……………	72
卵巣過剰刺激症候群	
大場 隆・中村 美和……………	78

血栓性素因に起因する不育症	
竹下 俊行	83
逆行性射精・ED	
小林 秀行・永尾 光一	86
乏精子症・精子無力症	
小林 秀行・永尾 光一	89
子宮内膜症—卵巣チョコレート嚢胞・骨盤腹膜子宮内 膜症	
宮下真理子・甲賀かをり	93
子宮腺筋症	
東 幸弘・谷口 文紀・原田 省	97
子宮筋腫	
宮下真理子・甲賀かをり	101
低用量経口避妊法・緊急避妊法	
百枝 幹雄	105
月経周期移動法	
百枝 幹雄	108
〈Ⅲ. 更年期・老年期〉	
更年期障害	
牧田 和也	111
更年期のうつ	
安井 敏之・松浦 幸恵	114
骨粗鬆症	
佐々木 浩	119
脂質代謝異常	
高橋 一広	122
過活動膀胱・尿失禁	
田辺 晃子	125
高血圧症	
高橋 一広	128
糖尿病	
安井 敏之・遠藤 逸朗	132
肩こり・腰痛	
岩佐 弘一	139
萎縮性膀胱・性交痛	
會田 訓子・西尾 永司	142
皮膚掻痒症・脱毛	
牧田 和也	145
冷え性	
岡村 麻子	148
不眠	
西尾 永司	152
片頭痛	
江川 美保	156
甲状腺機能異常	
澤田健二郎	159
婦人科悪性腫瘍術後のホルモン補充療法	
佐々木 浩	163

〈Ⅳ. 腫瘍〉	
子宮頸がん—術前・術後化学療法	
笠松 由佳・武隈 宗孝	166
子宮頸がん—進行・再発	
武隈 宗孝	171
子宮筋腫	
田中 良道	175
子宮肉腫	
田中 良道	178
子宮内膜増殖症・子宮体がん—妊孕性温存療法	
太田 剛	182
子宮体がん—術後アジュバント	
太田 剛	185
子宮体がん—進行・再発	
太田 剛	188
卵巣がん—術前化学療法	
鏡 誠治・吉野 潔	191
卵巣がん—術後アジュバント：漿液性癌・類内膜癌	
中井 英勝	194
卵巣がん—術後アジュバント：明細胞癌・粘液性癌	
中井 英勝	199
卵巣がん—再発治療：プラチナ感受性	
藤原 聡枝・大道 正英	203
卵巣がん—再発治療：プラチナ抵抗性	
藤原 聡枝・大道 正英	206
悪性胚細胞性腫瘍	
本橋 卓	209
悪性性索間質性腫瘍	
本橋 卓	212
絨毛性疾患	
新美 薫・山本 英子・梶山 広明	215
抗がん薬副作用対策—急性過敏性反応	
西野 幸治	219
抗がん薬副作用対策—骨髄抑制	
西野 幸治	222
抗がん薬副作用対策—悪心・嘔吐	
温泉川真由	225
抗がん薬副作用対策—末梢神経障害	
温泉川真由	228
がん疼痛対策	
池永 昌之	230
婦人科がん術後リンパ浮腫	
田中 京子・村上 功・釘宮 剛城	234
婦人科がんへの漢方療法	
後山 尚久	238
〈Ⅴ. 婦人科手術〉	
婦人科周術期の予防的抗菌薬投与法	
金村 昌徳	241

婦人科手術後の静脈血栓予防法					牧野真太郎……………	314
金村 昌徳……………	244	硬膜外麻酔による無痛分娩			加藤 里絵……………	317
【産科編】		前期破水			瀬山 貴博・永松 健・藤井 知行……………	320
〈Ⅰ. 異常妊娠〉		弛緩出血			松永 茂剛……………	324
妊娠悪阻		産科 DIC			松永 茂剛……………	327
兵藤 博信……………	250	〈Ⅴ. 産褥期の異常〉				
妊娠高血圧症候群		子宮復古不全			香川 秀之……………	331
成瀬 勝彦……………	253	産褥熱			香川 秀之……………	333
HELLP 症候群		マタニティブルーズ・産後うつ病			武藤 仁志・竹内 崇……………	336
森川 守……………	257	乳頭びらん・乳頭亀裂			坂巻 健……………	340
子癇		乳腺炎・乳汁分泌抑制			坂巻 健……………	342
鈴木 研資・入山 高行……………	262	後陣痛・創部痛			司馬 正浩・木戸浩一郎・綾部 琢哉……………	345
切迫早産		尿閉・尿失禁			司馬 正浩・木戸浩一郎・綾部 琢哉……………	348
塩崎 有宏……………	265	●エコチル調査から見てきた周産期の新たなリスク要因 (5)				
胎児不整脈		〈総論〉				
三好 剛一……………	268	エコチル調査とは：何をどのように調べているのか			上島 通浩・山崎 新・中山 祥嗣……………	426
〈Ⅱ. 妊娠関連疾患〉		妊娠が判明したときの気持ちは産後うつに影響を与えるか？			馬場 幸子・磯 博康……………	434
感染性心内膜炎 (予防)		〈メンタルヘルス〉				
兵藤 博信……………	272	妊娠中からの魚食は妊産褥婦の抑うつを減らすのか？			浜崎 景……………	439
周産期心筋症		母親の自閉症傾向は子どもへの愛着形成に影響するか？			廣川 空美・磯 博康……………	445
神谷千津子・吉松 淳……………	276	妊娠中に暴言を受けると新生児の聴覚に影響するか？			小森 香・小森 正博・菅沼 成文……………	451
深部静脈血栓症		分娩回数が増えると産後うつと対児愛着は改善するか？			土田 暁子……………	456
永松 健……………	279	父親の乳児に対するボンディング障害のリスク因子は何か？			西郡 秀和……………	463
梅毒		〈産科合併症〉				
笹 秀典・高崎 和樹・高野 政志……………	283	妊娠中の身体活動は早産や分娩方法に影響するか？				
トキソプラズマ感染症						
中西沙由理・青木 茂……………	286					
HIV 感染症						
白野 倫徳・山田 里佳・喜多 恒和……………	288					
細菌性陰症						
鈴木 大輔・西郡 秀和……………	291					
B 群 β 溶血性レンサ球菌 (GBS) 感染症						
鈴木 大輔・西郡 秀和……………	293					
A 群 β 溶血性レンサ球菌 (GAS) 感染症						
早田英二郎・梅村なほみ・中田雅彦……………	296					
〈Ⅲ. 妊婦のコモンディジーズ〉						
インフルエンザ・かぜ症候群						
小畑 聡一郎・青木 茂……………	299					
尿路感染症						
瀬山 貴博・永松 健・藤井 知行……………	302					
片頭痛						
山下 隆博……………	305					
便秘・痔核						
山下 隆博……………	308					
〈Ⅳ. 分娩の異常と処置〉						
微弱陣痛						
竹田 純・牧野真太郎……………	311					
過強陣痛						

高見 美緒・土田 暁子……………	469	若槻 明彦……………	589
つわりが強いと早産リスクは下がるのか？		閉経前後の子宮内膜症患者にはどう対応するか？	
満田 直美・栄徳 勝光・菅沼 成文……………	475	北島 道夫……………	595
ソーシャルキャピタル（周囲との人間関係）は、妊娠糖尿病の発症に影響するか？		〈保存的治療の限界と注意点〉	
水野 聖士・西郡 秀和・八重樫伸生……………	481	卵巣チョコレート嚢胞のがん化と早期診断	
妊娠中および分娩後の静脈血栓塞栓症のリスク因子は？		松村 謙臣・村上 幸祐……………	603
松本 洋介・榎原 毅・上島 通浩		卵巣チョコレート嚢胞破裂の診断とその管理	
杉浦 真弓……………	487	森田 峰人……………	613
CTG異常がみられた新生児は育てにくい傾向があるのか？		稀少部位子宮内膜症とその管理—頻度、合併症、悪性化と管理法	
諸隈 誠一……………	493	小寺 千聡・本田 律生・片渕 秀隆……………	620
●外来でみる子宮内膜症診療—患者特性に応じた管理・投薬のコツ (6)		●若年女性診療の「こんなとき」どうする？—多彩でデリケートな健康課題への処方箋 (7)	
内膜症病変の新しい臨床的評価法—従来の子宮内膜症評価法の特徴と課題、そして最新の評価法 NMS-E の解説		産婦人科で若年女性を診察する際に押さえておきたいこと	
市川 雅男・渡辺建一郎・可世木華子		尾臺 珠美・寺内 公一……………	642
小野 修一・明樂 重夫……………	526	〈月経異常管理の実際〉	
〈治療薬の使い方とコツ〉		性分化・性染色体異常を疑ったら？	
LEP 製剤の使いわけ		高橋 俊文・太田 邦明・水沼 英樹……………	646
百枝 幹雄……………	538	無月経、月経不順、早発月経への対応の基本とコツは？	
GnRH アゴニストの役割と注意点		甲村 弘子……………	654
真壁 友子・甲賀かをり……………	544	月経困難症にはどのような対応法があるのか	
経口治療薬ジェノゲスト使用のコツ		小川真里子・高松 潔……………	662
阪埜 浩司・青木 大輔……………	549	月経前症候群 (PMS)、月経前不快気分障害 (PMDD) の診断・治療の進め方とは？	
LNG-IUS の役割と使用のコツ		武田 卓……………	669
太田 郁子……………	555	〈性・性活動〉	
〈ライフステージに応じた患者への対応〉		性感染症の最近の傾向に応じた診療のポイントとは？—	
若年子宮内膜症患者の重症化予防のためにはどうすればよいか？		外陰部に腫瘍性・潰瘍性病変を認める性感染症の鑑別診断と対応	
北脇 城……………	560	野口 靖之・南谷 智之……………	676
不妊症治療のなかで子宮内膜症はどのように扱えばよいのか？		性犯罪・性暴力被害者にはどのように対応すればよいのか	
谷口 文紀・原田 省……………	567	対馬ルリ子……………	682
チョコレート嚢胞合併不妊で嚢胞摘除は勧めてよいのか？		いま必要な「性教育の指導法」とは？—知識の伝達から行動の変容へ	
小林 未央・北原 慈和・岩瀬 明……………	574	田代美江子……………	691
子宮内膜症をもつ患者に産婦人科処置を行う際には骨盤内感染・卵巣膿瘍に要注意！—ART 手技を含めて		経口避妊薬を処方するとき、緊急避妊を行うときのポイントは？	
梶原 健・左 勝則・高村 将司……………	579	杉村由香理……………	697
妊娠婦が子宮内膜症をもつ場合に留意すべき産科合併症とは？		〈若年妊婦のケア〉	
田中 博明・田中 佳世・池田 智明……………	584	若年妊婦の場合に注意すべき産科合併症とは？	
循環器疾患リスクを考慮した子宮内膜症の治療戦略とは		原田 寛子・中井 章人……………	706
		若年妊婦・若年母への就学・子育てで支援はどうすればよいのか	
		安達久美子……………	711
		児童虐待防止に向けて何ができるか、何をすべきか	

大門 篤史・藤田 太輔・大道 正英……………	716
〈若年婦人科腫瘍へのアプローチ〉	
若年女性の良性腫瘍にはどのように対処すべきか	
平野 栄来・平池 修……………	721
若年女性の悪性腫瘍（CIN も含めて）にはどのよう	
に対処すべきか	
田中 良道……………	728
〈女性アスリート診療〉	
女性アスリートへのヘルスケア指導はどのようにすれ	
ばよいのか	
佐竹絵里奈・能瀬さやか……………	733
●産婦人科医に最低限必要な正期産新生児管理の最新	
知識（Ⅰ）—どんなときに小児科の応援を呼ぶ？	
（8）	
〈総論〉	
正期産新生児のケア	
桐野万起子・佐藤 和夫……………	758
〈分娩直後〉	
出生直後のチェック項目	
側島 久典……………	764
気道確保と人工換気，NCPR	
細野 茂春……………	773
頻脈・徐脈・多呼吸で気をつけなければならない新生	
児の見分け方	
長田 朝美・有光 威志……………	780
新生児管理におけるパルスオキシメータの有用性と使	
用法—チアノーゼのスクリーニング	
中野 玲二……………	786
〈新生児でよく見る症状とその対応〉	
黄疸管理	
日下 隆・中村 信嗣……………	791
新生児嘔吐・便秘の異常	
東海林宏道……………	798
血糖測定	
河井 昌彦……………	804
心雑音	
与田 仁志・水書 教雄……………	810
体重増加不良とその取り扱い	
和田 和子……………	816
新生児けいれんの診かた	
柴崎 淳……………	820
何となく具合が悪い新生児	
新藤 潤……………	826
早期母子接触と母子同室のコツと注意点	
上田 和利……………	832

●産婦人科医に最低限必要な正期産新生児管理の最新	
知識（Ⅱ）—母体合併症の影響は？ 新生児スクリー	
ニングはどうする？（9）	
〈母体合併症〉	
GBS スクリーニングの管理と盲点	
城 裕之……………	866
梅毒合併妊婦から出生した児の取り扱い	
古市美穂子・菅沼 栄介……………	873
腔内細菌・真菌と正期産新生児	
近藤 昌敏……………	878
ヘルペス合併妊婦から出生した児の取り扱い	
吉田美智子・宮入 烈……………	885
母体サイトメガロウイルス陽性児の取り扱い	
森岡 一郎・山田 秀人……………	891
糖尿病合併妊娠母体児の管理	
佐藤 洋明・伊藤璃津子……………	898
甲状腺疾患合併妊婦から出生した児の取り扱い	
今野麻里絵・長谷川行洋……………	908
late-preterm 児・帝王切開児の新生児管理	
松崎 陽平……………	915
〈新生児スクリーニング〉	
先天性甲状腺機能低下症に対するスクリーニング	
南谷 幹史……………	922
その他の先天代謝異常スクリーニング	
澤田 貴彰・中村 公俊……………	928
聴覚スクリーニングのいま	
神崎 晶・堀 明美……………	936
退院時の母親への指導	
加部 一彦……………	942
●胎盤・臍帯・羊水異常の徹底理解—病態から診断・	
治療まで（10）	
〈胎盤〉	
胎盤の病理学的評価のポイント	
谷口千津子……………	982
絨毛膜下血腫のマネジメント	
小野 義久……………	990
胎児共存奇胎の画像診断と予後	
尾本暁子・碓井 宏和・生水真紀夫……………	994
胎盤遺残の管理	
大口 昭英・小古山 学……………	1001
〈臍帯〉	
臍帯付着部による周産期予後の違い	
長谷川潤……………	1007
臍帯捻転異常・巻絡の診断とマネジメント	
村越 毅……………	1014
臍帯潰瘍の診断のコツ	
堀越 嗣博……………	1022

〈羊水〉		太田 剛	1165
羊水過多の病因・病態		●着床環境の改善はどこまで可能か？—エキスパートに聞く最新研究と具体的対処法 (12)	
小松 篤史	1026	〈子宮内膜の再生〉	
羊水過多に対する羊水除去		子宮内膜幹細胞とその増殖	
杉林 里佳・和田 誠司・左合 治彦	1032	升田 博隆	1198
羊水過少の病因・病態		多血小板血漿 (PRP) は薄い内膜を厚くするか？	
吉田 志朗	1038	久須美真紀・野間 桃・堤 治	1205
羊水過少に対する羊水注入—重症 FGR の救命、後遺症のない生存を目指して		〈同期不全の臨床〉	
高橋雄一郎	1045	プロゲステロンが着床に果たす役割とメカニズム	
〈TOPICS〉		廣田 泰	1211
出生後の臍帯ミルキングの利点と欠点		プロゲステロンによる効果の個体差にどう対応するか？—ERA 検査に基づく凍結胚移植時期の調整	
細野 茂春	1055	京野 廣一・吉永 光希・橋本 朋子	1218
臍帯血幹細胞による細胞療法・再生医療		SEET 法・二段階胚移植法の現状と効果	
上田 一仁・佐藤 義朗・早川 昌弘	1062	後藤 栄	1226
●論文作成の戦略—アクセプトを勝ちとるために (11)		〈子宮内感染〉	
アクセプトを目指した論文の書き方		子宮内細菌叢と生殖補助医療との関係	
濱西 潤三・万代 昌紀	1090	齋藤 早貴・山田 満稔	1236
〈いまさら聞けない論文作成のキホン〉		子宮内感染の治療法とその評価は？	
題名・緒言 (Title・Introduction) はどう書けば魅力的か？		花田 哲郎・木村 文則・村上 節	1241
馬淵 誠士・山中彰一郎・市川麻祐子	1099	〈子宮内免疫〉	
適切な統計解析の使い方		免疫が着床に及ぼす影響—Th1/Th2 比, NK 細胞	
濱野鉄太郎	1107	福井 淳史・麦 楚嫻・柴原 浩章	1246
図表作成のポイント		タクロリムスはどう作用し、どのように効くのか？	
的場 優介・阪埜 浩司・青木 大輔	1112	中川 浩次	1252
考察 (Discussion) はどう書けば魅力的か？		ビタミン D は着床に影響するか？	
梶山 広明	1120	太田 邦明・福田 雄介・片桐由起子	
投稿するジャーナルの選定と査読の流れ—悪徳雑誌 (ハゲタカジャーナル) の見分け方		高橋 俊文・森田 峰人	1259
澤田健二郎	1126	〈婦人科疾患による着床不全の機序とその対処法〉	
査読意見に対する回答の仕方		子宮筋腫と不妊症	
小林 陽一	1135	吉野 修・平岡 毅大・大須賀 穰	1267
〈論文のまとめ方:実践編〉		卵管留水腫の影響と対処法	
症例報告の書き方—意義, 症例選定, 雑誌選定		田島 博人	1272
高橋 宏典	1140	子宮腔癒着症の影響と対処法	
臨床研究のまとめ方—研究デザインの設定から正しい結果の導き方まで		高田 淳子・山中 紋奈	1279
渡利 英道・金野 陽輔	1145	子宮ポリープの影響と対処法	
基礎研究のまとめ方—実験計画の立案から論文作成まで		土田奈々枝・小島 淳哉・久慈 直昭	1286
織田 克利	1150	中隔子宮の影響と対処法	
〈英文論文にチャレンジしよう！〉		栗林 靖	1290
初めて英文論文を書く人へのアドバイス			
矢幡 秀昭・加藤 聖子	1157		
Cover letter はどう書けば魅力的か？			
田中 良道	1161		
英文校正に求めるもの			

原著

術前に再発低リスクと予想される子宮体がん症例におけるリンパ節郭清術の省略に関する検討
江口 聡子・山口 広平・石坂 彩

神野 雄一・竹内 真・早田季美恵
永井美和子・後藤 美希・横尾 郁子
東梅 久子・有本 貴英…………… 1177 (11)

臨床経験

当院における医学的適応を目的とした妊孕性温存療法
の現状

森嶋かほる・原田美由紀・大井なぎさ
矢神 智美・眞田 裕子・松尾 光徳
真壁 友子・矢野 倫子・宮下真理子
原口 広史・金谷真由子・秋山 育美
浦田 陽子・能瀬さやか・廣田 泰
甲賀かをり・平池 修・大須賀 穰
藤井 知行…………… 1077 (10)

当院における若年妊娠の現状

植田 陽子・重光 愛子・松浦 美幸
森岡佐知子・佐々木高綱・水田 裕久
山田 嘉彦…………… 1183 (11)

妊娠中期に開腹手術を施行した急性虫垂炎2症例

芦川 すが・平沼 賢悟・小西 久也
藤森 啓太・浅尾 有紀・末延 豊
大鷹 美子…………… 1299 (12)

症例

小細胞神経内分泌癌と胃型粘液性癌が合併した混合型
子宮頸癌の1例

尾谷 功・矢本 希夫・松川仁登美
小林 智子・竹中 由夏・谷本 敏
…………… 297 (2)

多量の腹腔内出血により発症、肺塞栓を併発していた
嚢胞性子宮腺筋症

桐ヶ谷奈生・竹内 智子・山中 浩史
加藤 彬人・可世木 聡・杉田 智歌
岡本 知光・齊藤 調子…………… 513 (5)

腹腔鏡下に根治術を完遂し得たS状結腸子宮瘻の1
例

伊東 史学・向川 智英・橋口 康弘
細川 奈月・杉浦 敦・谷口真紀子
佐道 俊幸・喜多 恒和…………… 631 (6)

腹腔鏡下手術により診断した卵管捻転の2例

山田 有紀・松原 翔・長安 実加
岩井 加奈・木村 麻衣・新納恵美子
馬淵 誠士・川口 龍二・小林 浩
…………… 745 (7)

子宮頸部・内膜細胞診異常のみで早期卵管癌を疑った
1例からの文献的レビュー

土橋 裕允・芦原 敬允・田中 智人
植木 健…………… 853 (8)

心内進展静脈内平滑筋腫症の不完全切除例に対して静
脈結紮により術後腫瘍塞栓症を予防した1例

樋野 貴宏・原口 広史・井上 双葉
松尾 光徳・廣田 泰・原田美由紀
甲賀かをり・平池 修・大須賀 穰
藤井 知行…………… 961 (9)

Maternal EventによりNIPT判定保留となった1症
例

安原 由貴・笠松 敦・佐藤 智佳
黒田 優美・高野 苗江・副島 周子
西端 修平・横江 巧也・岡野 友美
吉田 彩・樫木 晋・吉村 智雄
岡田 英孝…………… 969 (9)

子宮魚鱗癬に合併した verrucous carcinoma of the
endometrium の1例

小野 元紀・山本さやか・今西 俊明
横川 裕亮・横川 裕美・高木 緑
戸田 文香・中村 智次・高木 靖
…………… 1305 (12)

FOCUS

seromucinous borderline tumor の画像診断のポイン
ト

山本 和宏…………… 408 (3)

〔シリーズ〕産婦人科と先端テクノロジー

人工知能 (AI) の生殖補助医療への応用—精子探索・
選別支援システムの開発

湯村 寧・竹島 徹平・黒田晋之介
山本みずき・佐々木勇人・濱上 知樹
…………… 505 (5)

〔シリーズ〕産婦人科と先端テクノロジー

AI技術を応用した Time Lapse 画像の自動解析によ
る受精判定研究

浅田 義正・福永 憲隆・渡邊 紘之
…………… 838 (8)

〔シリーズ〕産婦人科と先端テクノロジー

ロボット技術による全自動胚凍結機

林 博・細谷 佳代・三輪 淳子
…………… 948 (9)

CTGのコンピューター自動解析

高倉 翔・田中 博明・池田 智明
…………… 1068 (10)

実験動物作製におけるマイクロマニピュレーションの
自動化システムの開発—生殖補助医療への導入の可
能性を含めて

江藤 智生・田中 伸明・植田 裕基
秦 順一…………… 1170 (11)

教訓的症例から学ぶ

産婦人科診療のピットフォール

- 水腎症・尿管を伴う骨盤内腫瘍で卵巣がんが疑われたデスマイド腫瘍
伊藤 公彦・尾上 昌世・吉村道子
..... 183 (1)
- 子宮内膜細胞診陰性で子宮鏡下切除術後に明らかになった若年子宮体がんの2症例
橋本奈美子..... 290 (2)
- 術前に卵管留症を疑い術中に虫垂腫瘍捻転が判明した1例
高木 春菜・廣中 昌恵・神谷 典男
..... 500 (5)
- 妊娠中に強い頭痛・発熱・嘔吐症状で搬送され、リンパ球性下垂体炎と診断された2症例
清水 美代・加藤 淑子・福岡 正晃
..... 844 (8)
- 類内膜腺がんへの悪性転化を認めた臍子宮内膜症の1例
白石真理子・志岐 保彦..... 953 (9)

Obstetric News (武久 徹)

- 神経性無食欲症と骨の健康..... 190 (1)
- 子宮内避妊装置（ミレーナ）—卵巣癌と子宮内膜癌減少（ノルウェーの研究）..... 302 (2)

- 新型コロナウイルス 2019 感染と妊娠（米国産婦人科学会 2019）— Practice Advisory Novel Coronavirus 2019 COVID 19..... 416 (3)
- 新型コロナウイルス感染と産科（1）—新型コロナウイルス感染の疑いがあるまたは確定診断された妊婦に対する外来評価と管理（米国産婦人科学会）
..... 511 (5)
- 新型コロナウイルス感染と産科（2）— CDC の母乳哺育に関する情報と ACOG の医療勧告
..... 628 (6)
- 新型コロナウイルス感染と産科（3）—よくある質問（患者用）：米国産科婦人科学会..... 739 (7)
- 妊娠中のビタミン D 欠乏症 850 (8)
- ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン接種の推奨—対象者と効果，安全性について
..... 958 (9)
- 骨粗鬆症（Ⅰ）—有病率..... 1075 (10)
- 骨粗鬆症（Ⅱ）—骨の生理学..... 1174 (11)
- 骨粗鬆症（Ⅲ）診断①—骨密度測定部位は「腰椎“および”股関節」なのか？ それとも「腰椎“または”股関節」なのか？..... 1296 (12)

書評

- 鳴海善文（監修）高濱潤子，山本和宏（編集）
症例から学ぶ産婦人科疾患の画像診断
大道 正英..... 627 (6)